

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント



アムンディ・ みらい定期便®

みらい定期便®はアムンディ・ジャパンの登録商標です。当資料内で、ファンド名称を「みらい定期便®」と記載する場合があります。

みらいに続く 毎月受け取る

みらい定期便®は、原則、投資資産から得られる配当・利息等の範囲内で分配金を支払うファンドです。

祝

2年連続で2つの最優秀ファンド賞を受賞

世界中のあらゆる資産を投資対象に、
機動的な資産配分の変更を行うみらい定期便®は、
昨年に引き続き、2つの「最優秀ファンド賞」を受賞しました。



2年連続&ダブルで受賞 最優秀ファンド賞



LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024

最優秀ファンド賞 (投資信託部門)

ミックスアセット 日本円 フレキシブル型 評価期間3年



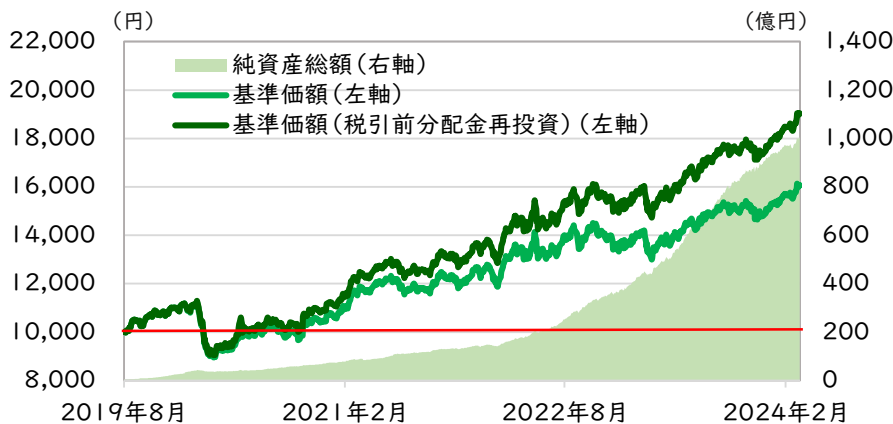
R&Iファンド大賞2024

最優秀ファンド賞

「投資信託/バランス比率変動型 (標準) 部門」

機動的な運用による 堅調なパフォーマンス

■ 基準価額と純資産総額の推移 (期間:2019年8月23日(設定日)~2024年3月29日、日次)



(2024年3月29日現在)

設定来騰落率
+90.3%*

純資産総額
1,006億円

| | |
|---------------------------|---------|
| 基準価額 | 16,061円 |
| 基準価額 (税引前分配金再投資) | 19,027円 |
| 設定来分配金累計額 (1万口当たり/税引前) | 2,145円 |

*基準価額(税引前分配金再投資)より算出

■ 投資対象ファンド*の過去1年間のパフォーマンス (2024年3月末現在)

市場環境等

欧米の利上げ等による景気後退懸念
の中、経済は減速したものの底堅く推移。株式を
はじめ幅広い資産が上昇しプラス寄与した一方で
ヘッジ目的のデリバティブがマイナス要素に。
また、円安進行はみらい定期便®の上昇要素に。

| 投資対象ファンド 騰落率 (費用控除後) | + | プラス寄与した 上位2資産 | - | マイナス寄与した 主な資産 | (ご参考) 米ドル/円 |
|----------------------------|---|---|---|--|----------------|
| +11.3% | | <ul style="list-style-type: none"> 株式*1 エクイティリンク債*2 | | <ul style="list-style-type: none"> ヘッジ等の デリバティブ取引 | +13.4% |

*Amundi Funds インカム・オポチュニティーズ(米ドルベース)

*1 MLP, REIT, BDC等を含みます。(すべての資産が組入れられているとは限りません。)*2 償還や利率の条件等が、特定の株式や株式指数等に連動している証券

・基準価額は信託報酬控除後です。基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
LSEGリッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024ならびにR&Iファンド大賞2024については、P3をご覧ください。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料のご使用に際し、最終ページの「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

堅調なパフォーマンスの秘訣は？

幅広い投資対象

世界中のあらゆる資産

資産発掘の基準

好利回り・割安

市場環境への対応力

機動的な資産配分変更

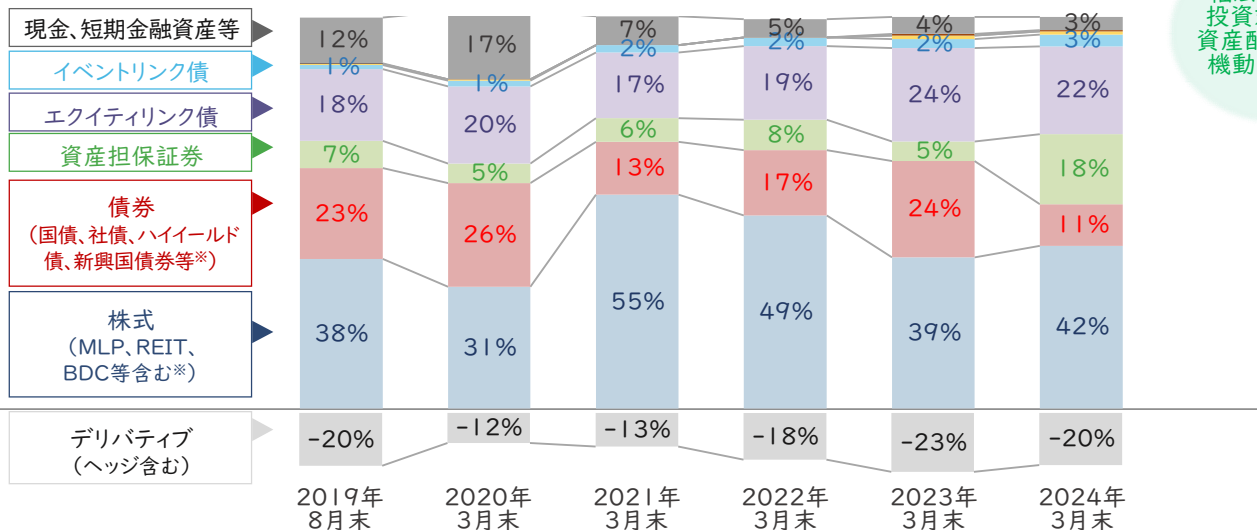
みらい定期便®は、安定的な分配金の支払いと中長期的な成長の両立をめざし、世界中のあらゆる資産から好利回りかつ割安を軸にポートフォリオを構築しています。

機動的な資産配分の変更の積み重ねで、株式よりも安定的な値動きのもと、堅調なパフォーマンスを実現。長期的な資産形成にお役立ていただけるファンドといえます。



【投資対象ファンド 資産配分の推移】

(2019年8月末(みらい定期便®設定月)および2020年~2024年の各3月末)



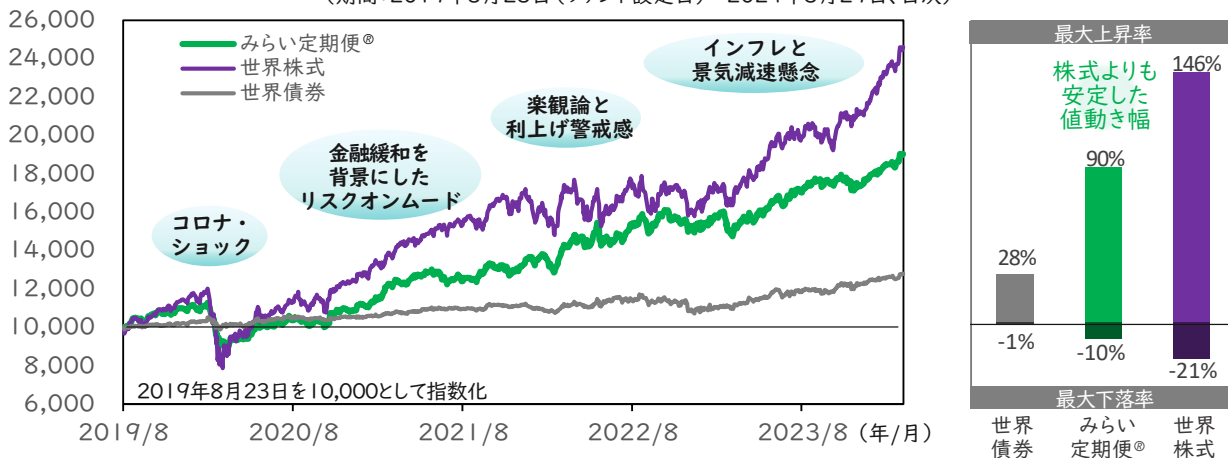
幅広い資産を投資対象とし、資産配分変更を機動的に実施

上記6つの局面すべてにおいて比率が2%未満であった資産(転換社債、優先証券、その他(投資信託証券を含む場合があります))はグラフ内に凡例を表示しておりません。四捨五入の関係でグラフの合計が100%とならない場合があります。

※表記資産のすべてが組入れられているとは限りません。

【みらい定期便®および各資産(円換算)の推移および期間中の最大上昇率・下落率】

(期間:2019年8月23日(ファンド設定日)~2024年3月29日、日次)



出所:アムンディ・ジャパン株式会社。ファンドは基準価額(税引前分配金再投資)を使用。各資産は1営業日前の数値を当日の三菱UFJ銀行対顧客公示相場レートを用いて円換算。いずれもトータルリターン。使用した指数とその権利についてはP4をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料のご使用に際し、最終ページの「当資料のお取り扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

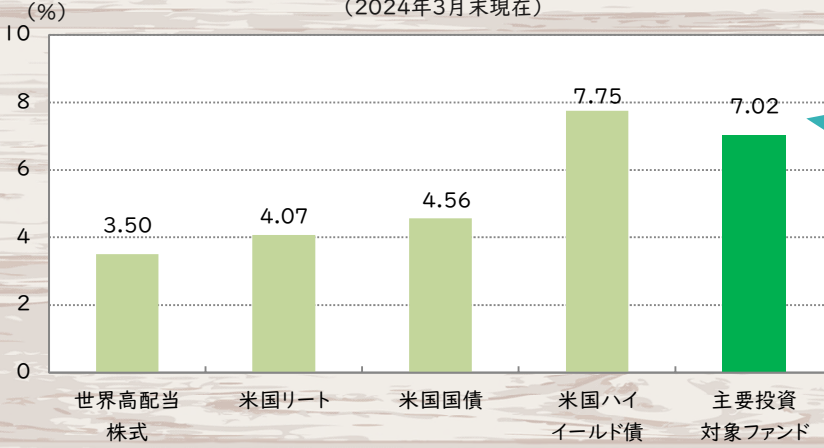
<主要投資対象ファンド*の利回り水準と今後の運用方針>

*Amundi Funds インカム・オポチュニティーズ(米ドル建、ルクセンブルク籍)

～世界中から好利回りかつ割安な資産を発掘～

【主要投資対象ファンドと各資産の利回り】

(2024年3月末現在)



利回りの水準は？

金利上昇を受けて利回りが上昇(価格が下落)した米国ハイイールド債よりは低いものの、世界高配当株式などの他資産よりも高い水準

*費用控除前。組入資産の配当・利息等に基づきアムンディ・アセットマネジメント・US・インクが独自に算出したものです。

出所:アムンディ・アセットマネジメント・US・インク等のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
 使用した指数とその権利についてはP4をご覧ください。
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

【主要投資対象ファンド 今後の運用方針 (アムンディ・アセットマネジメント・US・インク)】

(2024年3月末現在)

引き続き幅広い地域・資産クラスから 魅力的なインカム獲得機会を柔軟に活用する方針

- 経済指標は数カ月前の予想より堅調に推移するとみられ、市場はソフトランディングを織り込みつつあると考えます。主要中央銀行が早期の利下げに消極的であることや、特に雇用の伸びが維持される場合には、インフレが再加速するリスクがあることから、当ファンドは高金利が長期化するものと予想しています。市場の期待もこうした現実に適応しつつあり、高い金利水準や、株式市場ではこれまで大きく上昇してきた超大型のグロース株以外にも良好なパフォーマンスが拡大してきました。
- これらを踏まえ当ファンドは、ディフェンシブなポートフォリオを維持しています。債券では、リスク・リターン観点から利回りがより魅力的な、質の高い債券に重点を置いています。さらに、エクイティリンク債のポジションは、引き続き当ファンドのインカム獲得の重要な源泉と考えています。

アムンディ・ジャパン株式会社の「みらい定期便®」特設サイトもご覧ください！



スマホをかざして
今すぐアクセス！



【LSEG リッパー・ファンド・アワード2024について】

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表章いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.com をご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

【R&Iファンド大賞2024について】

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料のご使用に際し、最終ページの「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

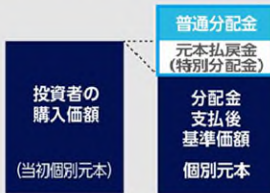
【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

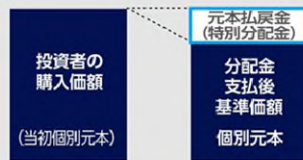
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

【使用した指数とその権利について】

世界株式:MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)、世界債券:ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルベース)、米国リート:S&P米国リート(米ドルベース)、米国ハイールド債:ICE BofA US High Yield Constrained Index(米ドルベース)、米国国債:ICE BofA ALL Maturity US Government Index(米ドルベース)、世界高配当株式:MSCI世界高配当インデックス(米ドルベース)を使用。
 ●MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。
 ●S&P米国リートは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。
 ●ICEの各インデックスは、ICE Data Indices, LLC又はその関係会社(「ICE Data」)のサービスマーク/商標であり、各インデックスとともに、ファンドに関連して、ライセンスによる使用のためにライセンスされています。ライセンス、ファンドのいずれも、ICE Dataが後援、推薦、販売又は販売促進をするものではありません。ICE Dataは、有価証券全般への投資若しくは特にファンドへの投資、又はインデックスの全般的な株式市場のパフォーマンスを追跡する能力の妥当性について、一切保証を行いません。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、明示又は黙示の一切の保証を行うものではなく、明示的に、インデックス、インデックス値及びインデックスに含まれるデータについて、商品性及び特定の目的への適合性の保証を否認します。如何なる場合においても、ICE Dataは、特別損害、懲罰的損害、直接損害、間接損害又は結果的損害(逸失利益を含みます。)の賠償責任を負わず、それらの損害の可能性を通知されていた場合であっても同様とします。
 ●「Bloomberg®」および「ブルームバーグ・グローバル総合インデックス」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、各ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、各ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
 ●当資料中に引用した各インデックス(指数)の著作権・知的財産権およびその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

ファンドの費用

<投資者が直接的に負担する費用>

| | |
|---------|--|
| 購入時手数料 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。当資料作成日現在の料率上限は 1.1% (税抜1.0%) です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

<投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用>

| | | |
|---------------|--|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 実質的な負担の上限 | 純資産総額に対して 年率1.63% (税込) ※ ※ファンドの信託報酬年率0.88% (税込) に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの (年率0.75%) を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。 |
| その他の費用・手数料 | その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用 (監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税 (年率0.01%) などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。 | |

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として株式や債券など値動きのある有価証券 (外貨建資産には為替変動リスクがあります) に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、デリバティブ取引に関するリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因 (投資リスク) は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) の「投資リスク」をご覧ください。

<お申込みの際には、必ず投資信託説明書 (交付目論見書) 等をご覧ください。>

当資料のお取扱いについてのご注意

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託は、値動きのある有価証券 (外貨建資産には為替変動リスクがあります) に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資信託の基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。当資料に記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。

委託会社、その他の関係法人の概要

| | |
|------|---|
| 委託会社 | アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第350号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 受託会社 | 株式会社りそな銀行 |

投資信託説明書 (交付目論見書) のご請求・お申込みは

(2024年3月29日現在)

| 金融商品取引業者等 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人投資信託協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|---------------------|-------------------|---------|--------------|-----------------|-----------------|--------------------|
| 株式会社 埼玉りそな銀行登録金融機関 | 関東財務局長 (登金) 第593号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社 みなと銀行 登録金融機関 | 近畿財務局長 (登金) 第22号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社 りそな銀行 登録金融機関 | 近畿財務局長 (登金) 第3号 | ○ | | ○ | ○ | |
| あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第67号 | ○ | | ○ | ○ | |
| 株式会社SBI証券 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第44号 | ○ | | | ○ | ○ |
| 百五証券株式会社 金融商品取引業者 | 東海財務局長 (金商) 第134号 | ○ | | | | |
| 楽天証券株式会社 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第195号 | ○ | | ○ | ○ | ○ |

ファンドに関する照会先 委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社 ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/
お客様サポートライン：050-4561-2500 (受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで)